

講義名称	ボランティア・プロジェクトB	担当教員名	山本 有紀
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	キリスト教	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM120

授業のキーワード	ボランティア・共生社会・ネットワーキング
授業の概要	①アジア学院「収穫祭」へのフィールド・トリップ（10月第2週）。②学期に2～3回行う「わかちあいカフェ」の企画運営。③裏祭での「わかちあいカフェ」運営。
期待される学習成果（目標）	①ボランティア活動の企画運営の方法を学び経験を積む。②同じ活動を共に担う仲間のネットワークづくり実践の機会を持つ。③他者と共に生きる、持続可能な社会を創り出す具体的実践を体験的に知る。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の目的、進め方、評価方法などについて説明する。
2	アジア学院の働き	アジア学院の働きについて、殊に「収穫祭」に関する講義とフィールド・トリップ準備。
3	フィールド・トリップ	アジア学院「収穫祭」へのフィールド・トリップを実施（1泊2日・10月2週目の土日）
4	プロジェクト①	フィールド・トリップの評価と、「カフェ」活動に向けての準備。
5	プロジェクト②	裏祭での「わかちあいカフェ」（11月）実施と評価。
6	プロジェクト③とまとめ	「わかちあいカフェ」（裏祭）実施と評価（2020年12月19日）。
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

定期試験	活動レポートをもって試験に替える。
授業時間外学習	①プロジェクト遂行のために必要な資料や図書を読む ②「カフェ」運営に関するグループでの話し合い ③「カフェ」開催直前準備 ④活動報告（レポート）の成作
評価方法	①フィールド・トリップ後のレポート 30% ②「わかちあいカフェ」企画運営への貢献 40% ③全プロジェクト終了後のレポート 30%
使用する教科書（必ず購入してください）	授業に必要な資料を適宜配布する。
参考文献	①野中 郁次郎・他「実践ソーシャルイノベーション：知を価値に変えたコミュニティ・企業・NPO」千倉書房（2014）②「おいしいコーヒーの真実」（DVD）③「モンサントの不自然な食べ物」（DVD）